

◎事業所概要

☺法人理念

- ・幼児、学齢期と早期から社会への対応力を身につけるための適切な療育を提供します
- ・成人後の適切な支援を提供します
- ・社会からの障がいへの理解を深める活動に取り組みます

☺営業時間

平日 13:00~18:00
土曜日 10:00~17:00
祝日・長期休暇中
13:00~17:00

☺主な行事

季節に合わせた行事や調理
春:ひな祭り(ちらし寿司づくり)、GWを活用した外出活動(カラオケ等)
夏:夏祭り(夏祭りおやつ提供、縁日遊び)
秋:落ち葉やどんぐりを使った工作
冬:クリスマス会(ケーキ作り、ビンゴ大会)

☺事業所支援方針

各児童が言葉で自分の意志等を表現できるように、運動療育やSST等の療育プログラムを通じて周囲のお友達との交流を図る機会を提供する。
①日々の挨拶をする
②児童同士のコミュニケーションを大切にする
③楽しく身体を動かす
④他者(周囲)や自己を知る・判断するための認知力を育む
⑤困った時に助けを求め力をつける
⑥自分の気持ちや考えを適切に伝えることのできる力をつける

☺職員の保有資格

- ・保育士
- ・作業療法士
- ・臨床心理士
- ・公認心理師
- ・児童指導員

☺送迎の有無、その他

なし(自己来所)

◎児童生徒支援以外の取り組み

✓家庭支援

- ・保護者への相談援助(学校や家庭での過ごし方に関する相談)
- ・フィードバックにおける児童の成長ポイントや課題等の共有
- ・子ども家庭支援センターや児童相談所との連携

✓地域支援・地域連携

- ・商店街主催の催し物への参加
- ・学校公開
- ・保護者向け勉強会

✓移行支援

- ・就職に向けて必要な能力の獲得(報連相)
- ・満期退所時における意見書の作成

◎事業所概要

健康・生活

- ・見通しを持つことのできる環境づくり
- ・一日のスケジュールや活動の手順・決まり事等を視覚表示にて示す

言語・コミュニケーション

- ・会話や言葉遣い等、支援者自身がモデルとなりながら語彙が広がるように支援する
- ・言葉に詰まった場合「こういう時は何と言おう?」と自分で考える機会を提供する
- ・言葉が出てこない場合には、支援者がモデルを示し、言語化ができるように見守る
- ・「きもちメーター」等の掲示の活用により体調や気分を自己評価し、他者に伝えることのできる手段を提供する

人間関係・社会性

- ・適切な言葉遣いや距離感を学ぶ場を提示する
- ・自己決定権を尊重しながら活動プログラムへの参加を促す
- ・外出活動を通して社会のルールや交通ルール等を遵守する大切さを学ぶ

運動・感覚

- ・体を動かし体幹を鍛え、運動技能・体幹の向上を図る
- ・なわとびでの回る・跳ぶ等の動きから前庭感覚等感覚の充足を図る。
- ・ビジョントレーニング(数字タッチゲーム)の中で目の動きの練習を行い、板書や読み書きの向上を目指す。
- ・工作を通して、色の使い方を考えながら手先を使う作業を行う
- ・食事、学習時の姿勢の指導

認知・行動

- ・強い怒りや流涙があった際には、自分の気持ちを自分の言葉で話すことができるよう支援する。
- ・空間認識等も含めた認知力を高める活動を行う。(運動、工作、ビジョントレーニング、書字等)
- ・成功体験に対しては、ポジティブなフィードバックを都度心がけて次回以降につなげることができるよう支援する。

◎支援の質の向上を目的とした年間研修計画 ※令和7年4月~

- | | | | |
|----------------|-------|------------|-------|
| ・言語指導者基礎 | (年8回) | ・入社時研修 | (適宜) |
| ・言語聴覚士スキルアップ | (年4回) | ・階層、職種別研修 | (適宜) |
| ・ビジョントレーニングの基礎 | (年1回) | ・虐待、身体拘束防止 | (年3回) |
| ・ビジョントレーニングの応用 | (年3回) | ・感染症予防 | (年2回) |
| ・ケース研修 | (年3回) | ・防災訓練 | (年2回) |